



港工同窓会 ニュース

臨時号

平成30年10月1日発行

発行責任者 前田武男

再興三十年の同窓会に想う

港工同窓会副会長

港(定)13期E 西原 要四郎

六月十六日は平成三十年度港工同窓会の総会が六郷工科高等学校で開催されました。審議は滞りなく順調に進められました。

今年では会場正面に校旗を掲げましたところ、会場は一変し明るい雰囲気になり、同窓会活動再興三十年の節目に花を供えられたように笑顔が溢れていました。また港工同窓会を一途に支えて下さっている前田会長に感謝いたします。

総会は予定通り終了となり、参加者数人に近況をご披露頂き、歓談が続きました。お話の端々に今後の活動を充実したものにする様励ましのお言葉も頂戴致しました。

懇親会は昨年と同じ品川駅前の「TKPガーデンシティ品川」の会場へ急行いたしました。

会場は綺麗に整えられていました。更に持参した校旗を掲げましたことで「港工」がグレードアップされました。

雰囲気は上昇するなかに更なるビッグマンがご来場なさいましたので、会場は一気にヒートアップ致しました。その人は世界一のビッグマジシ

ヤンで、港工同窓会の会員でもある「前田知洋」氏が懇親会を賑々しく、かつ楽しく演出をして下さいました。ゆったりとした会場には特別ご優待のご婦人方も大いにお楽しみいただきましたことなど供俱に感謝申し上げます。

「増えることのない会員」の動向(総会出席者、懇親会参加者等々)を鑑みるとき一抹の淋しさを感じ得ますが、前田会長はじめ幹事の皆さんと共に何時迄も笑顔の同窓会を続けていきたいと思えます。

友のうれひは 我がうれひ

我喜べば 友の笑む

人生の幸 青春の

片身をわかつ 君と僕

胸の高鳴り 数えては

友情の野辺 行かん哉

この歌は、初代校長早坂朝太郎先生の作詞で「校友の歌」として定時制で校歌と並んで愛唱された応援歌です。(第四番)

敵しい環境の中で「学び」と云うことの楽しさと苦しみを共有できることの大切さを歌として学べることは、この上ない喜びで有ります。

「校友の歌」にみる「友のうれひは我がうれひ」・・・と互いに慈しむ心と心が寄り添い、助け合って笑顔が

弾ける、そのような同窓会になれる様に務めますので、皆様のご支援を賜りたく、ご協力をお願い申し上げます。

◇ 第15回 六郷祭のお知らせ ◇

日時：平成30年10月20日(土) 9時～16時 ※日曜は無し
※(10月19日(金) 非公開、学校関係者のみ)

場所：東京都立六郷工科高等学校

京浜急行「雑色」駅下車 国道沿い徒歩3分
校内自動車工場には、懐かしのA型フォードが保存されています
設備の多くに港工の機器が活用されている校内を見学できます。
港工同窓会の部屋を用意し、昔のアルバム等の資料を展示します。

- ・・・ 見学前後の休憩・歓談にお立ち寄り下さい ・・・
- ・・・ 名簿の閲覧・住所変更・賛助金の納入等受け付けます ・・・

第30回定期総会懇親会



↑自動車(全) 豊山州生 敬称略

↑教頭(全) 木村武敏

↑数学(全) 両角亮一

↑14代校長 和泉勲

↑会長 前田武男

↑英語(全) 甲斐徳隆

↑教頭(全) 相川英昭

↑電気(全) 山田信幸

【恩師出席者】

↑マジシャン 前田知洋

↑校旗

平成31年度定期総会・懇親会

来春の定期総会は、六郷工科高校にて総会を行い、懇親会は昨年、本年と使用し好評であった、JR品川駅前で開催を予定します。

駅前で来場し易くなりましたので、クラス会や、旧友との再会に活用されますようご案内いたします。

(ご家族の方の会費は無料とします)。皆様お誘い合わせのうえ旧交を温められる機会になればと存じます。

記

日時 平成31年6月15日(土)

場所 総会 六郷工科高校にて
13時より

懇親会 TKPガーデン
シティ品川にて
16時より

※詳細は来年4月、学校行事日程の決定後にご案内します。

○事務局からのご案内

※港工高50周年記念誌(平成8年) ※港工高閉校記念誌・DVD付 (平成16年)

在庫があります。ご希望の方は事務局まで一報ください。

※港工高20周年記念誌については、在庫が僅かのため配布不可です。内容等ご質問あれば一報下さい。部分コピーの上送ります。

(秋の六郷祭には展示します)

◇理事会風景

六郷工科高校・資料室



港工と人生

港定 23期MB 重 忠光

思い出すと52年前に体一つで奄美大島から東京へ出てきた私です。会社

4年生の時に生徒会長を任せられて一年間何とかこなしました。失敗は

それでも卒業後、縁有ってK/C社に転職しインドネシア・上海等工場立

定年後、市の公民館講座に参加しましたがなじみず、翌年に地区のグランドゴルフ同好会に入会し現在も続けています。

訃報 (敬称略)

高輪一本1期E 高木 妙二郎

高輪一本1期E 藤原 要之助

高輪一本3期E 藤井 正義

高輪一本3期E 高橋 由夫

高輪一本7期E3 秋山 二郎

高輪一本7期E3 庄司 正喜

高輪一本7期E4 永井 貫一郎

高輪一本9期E 高田 和二郎

麻布一本1期E 茅野 賢夫

麻布一本2期E 小田倉 貢

麻布一本2期E 高井 稲保

麻布一本3期E 水谷 光男

麻布一本3期E 渡辺 貢一

麻布一本4期E 埜口 延吉

麻布一本4期E 君塚 仁

麻布一本5期E 小川 光

麻布一本5期E 永野 英二

麻布一本6期E 志村 順一

麻布一本7期E 佐藤 勉夫

麻布一本7期E 岩瀬 純二郎

港(全) 2期P 菌部 利康

港(全) 2期C 平元 隆

※平素よりお世話になっており、ありがとうございます。

港(全) 2期C 藤澤 久夫

港(全) 3期A 山際 善次

港(全) 3期P 須藤 千尋

※みな様に変なお世話になりました。

子供、孫、ひ孫5人に恵まれて、

みんな元気な人生だったと思

います。

港(全) 4期A 船橋 貞夫

港(全) 4期C 橋本 孔助

港(全) 4期C 広瀬 辰雄

※大へんお世話になりました。

港(全) 5期P 鈴木 徹

港(全) 5期P 滝田 義則

港(全) 5期P 八田羽 健二

※主人は戦後の大変な時代も頑張

って生きて参りました。皆々様の

お陰で幸せな人生だったと思っ

ております。

港(全) 5期C 西田 三喜雄

港(全) 6期A 井上 光二

港(全) 6期A 江沢 旭

港(全) 6期C 横田 稔

港(全) 9期E 佐々木 茂

港(全) 10期M 保田 孝夫

港(全) 11期E2 相良 乙彦

港(全) 11期C 杵淵 日出男

港(全) 12期E1 鎌田 弘二

※生前皆様にお世話になり、感謝

申し上げます。

港(全) 12期E1 藤井 不二男

港(全) 12期E2 網島 三郎

港(全) 14期E1 山田 万治

港(全) 15期C 稲川 利昭

港(全) 16期A 斉藤 義勝

港(全) 16期C 中川 富男

港(全) 19期M 中平 治生

港(全) 26期C 加藤 信義

※高校時代の友人が不明です。親し

くしていた方などにお知らせ出来

ればと思っております。(姉です)

※遺族よりご寄付を戴きました

港(全) 33期A 鈴木 武彦

港(全) 52期C 亀井 耕太

港(全) 54期E 五十嵐 隼人

港(定) 2期C 本多 昇

港(定) 3期C 田中 次郎

※長年に渡り大変にお世話になり

有難うございました。(家族)

港(定) 7期M 高橋 成壽

港(定) 9期C 毛塚 龍太郎

港(定) 9期C 小倉 茂

港(定) 11期M 新木 利規

港(定) 11期E 小出 昭男

※お世話になりました。

港(定) 13期MB 中田 隆司

港(定) 13期E 加藤 征男

港(定) 14期MA 安江 弘吉

港(定) 21期MB 平野 勉

●ご冥福をお祈り申し上げます

返信ハガキからの近況・想い出
特別会員30年度(春号追加)

旧教頭全 本波 哲郎
「10年1日の如し」の日々を過しています。卒寿を越えて元気でいられる幸せをかみしめ、感謝のほかありません。

旧体育全 斉藤 徳也

私は今年、古希を迎える年齢となりました。港工業高校は、教員としてのスタートした学校です。藤田先生、石井先生、植松先生、松田先生、両角先生、明石先生、八重先生、小田桐さん等々お世話になりました。おかげ様で今日まで無事に生活を送ることが出来ました。残念ですが総会には欠席させていただきます。次回に参加できますようにしたいと思います。

旧電気全 床枝 晃

元気にしております。平成30年3月31日付で定年退職を致しました。

◇ ◇ ◇ ◇

クラス会だより(平成30年度)

港(全)4期C 須藤 明

同窓会ニュースを読ましていただき、会員の皆様の思い出記事に私も元気を頂きました。私達4期C同窓生は、亡くなった方も何人かおられますが、それでも毎年同級会を開催し、今年で七十数回になります。何年たつても何時も当時の思い出話しと港工同窓会員の誇りを語っています。

港(全)7期E 小暮 憲司

80才を過ぎた老クラスメンバー6、7名が、年2、3回集い軽飲食を取りながら「四方山話」に花を咲かせ、相互健康を気遣いながら一刻を過ごしています。

港(全)8期E 橋本 俊一

6月10日に新橋亭にて8Eの級会を約10名で開きます。幹事岡村、中尾君。パーキンソン病にて週2回運動支援型リハにお世話になっております。

港(全)8期E 岡村 政一

毎年6月ごろ、クラス会を開催しています。今年は6月10日新橋亭にて行い、11名の出席予定です。

港(全)8期E 川畑 降春

毎年クラス会を実施。幹事さんの努力に感謝！皆の元気な姿をうれしく！

港(全)9期E 高橋 諒一

一年一回、仲間5人で旧交を暖めています。

港(全)12期M 小林 保男

6月3日のクラス会、残念ながら参加人員わずか5人、存続が危ぶまれています。12期Mは76才77才です。これが現実、ラーメン屋現役、土曜日は一週間で一番お客さんの多い日、残念ですが！

港(全)19期E1 土井 博

平成28年秋より年1回のクラス会を新橋で開催しております。今年も11月に予定。

港(全)39期E1 長谷川 幸一

今年は50才になり、記念のクラス会として、暑氣払いでも開催したいです。

港(全)10期C 細田 正明

第10回、昭和33年3月卒(担任高橋光春先生)。毎年8月にクラス会を開催しています。今年も8月に22回目を挙行予定です。

返信はがきからの

近況・想い出(平成30年度)

高輪(二本)2期MB 清水 譲

6/13に連絡来ましたが、定期総会出欠に間に合いませんでした。いつも同窓会ニュースを楽しみに読ませて戴いて居ります。この世に生の有る限りお付合をさせて戴きます。

高輪(二本)5期MB 小林 茂雄

1/13に脑梗塞で入院、リハビリ中です。皆様お体大切にして下さい。

高輪(二本)5期E 西本 保

輪工電気科卒業して70年余り。友人も数名となりました。若い人は頑張ってください

高輪(二本)7期E3 吉澤 孝義

世界水壘展が6月23、30日まで開かれていますので、ご返事が遅れてしまい申し訳ありません。

高輪(二本)9期E 富岡 光一

自宅のできるボランティアなどで毎日過ごしています。私たちのグループも90才を過ぎ、人数がたいへん少なくなりました。

麻布(一本)5M 五十嵐 増男
身体不調のため不参加いたします。

麻布(二本)6M 加藤 弘

本通知を受領したのは、15日午後でした。出・欠の返事をする余裕など全く無くどうぞご理解下さい。麻布工業を卒業して72年になります。

港(全)1期E 青沼 弘

同窓会ニュースいつもありがとうございます。ございます。麻布工(1〜3年)、高輪(4〜5年)、港工発足初年(3年度)だけでしたが当時を懐かしく、繰り返し読ませて戴いております。ニュース発行継続のご苦勞感謝しております。

港(全)1期E 中田 達夫

高輪から引越し想い出す。勉強机3人用を一人で押しながら札ノ辻をゆつくり歩いたこと。

港(全)3期M 田中 一實

85才になり、車椅子の生活です。

港(全)3期A 波多野 稔

体力、気力ともぎりぎりのところで生活しております。

港(全)3期A 三宅 晃

懐かしい港工時代も夢の中になりました。眼・足腰ともに歳相応に衰え不自由です。

港(全)4期M 秋山 敏朗

私は気持ち元気がですが、昨年転倒による骨折及び腰痛のため、歩行が困難で、総会には欠席します。

港(全)4期A 加藤 明彦

明石先生はじめ、4Aの同級会(明石会)の皆様元氣してますか。

港(全)4期C 山崎 輝男

体調は100%まで戻っていません。遠出の外出は無理なので欠席します。港工同窓会も再興してから30年となることですが、ここまで維持できたのは会長始め幹事の努力のためものだと思います。

港(全)5期A 福西 及

歩行がむずかしくなりました。

港(全)5期C 吉川 孝

元気で暮らしております。

港(全)6期P 佐々木 修一

加藤琢二先生が亡くなられた由、まことに残念でなりません。10月の湯河原旅行、参加しますので、よろしくお願いします。

港(全)6期E 大串 忠史

総会・懇親会の出席を楽しみにしています。6期Eの人たちはまだ一度も参加したことはありません。

港(全)8期M 海野 鑑一

港工高同窓会再スタート30周年。先達各位のご尽力で再起とその後の皆さんのご努力で今日を迎えることが出来ました。今はなき母校に思いを寄せる心がモテイヴ・パワーとなり感慨ひとしおかとお慶の至りです。物故役員の方々にも黙祷。

港(全)8期M 及川 孔二

聴力障害で指文字(手話)と筆談での会話しか出来なくなりました。

港(全)8期E 中尾 力

S31年卒業以来クラス会を欠かした事なく60数年がすぎました。30年は6月10日11名出席。新橋亭の常連になっていきます。傘寿を超えて、皆様お元氣です。

港(全)8期C 高橋 常幸

80歳になりました。詩吟を始めて50年、ゴルフは40年余りになります。毎週声を出し、体を動かして健康寿命を伸ばすよう努めています。

港(全)8期C 堂地 利之

東京の各所の散歩に参加しており、この秋には愛宕神社に参拝予定。

港(全)10期E2 米原 貞治

6/5港工同窓会ニュースを初めて受け取りました。

港(全)10期M 下田 雄三

7月7日に同じ企業にいる、または居た港工高卒業生の集まりがあり、「港工同窓会ニュース」を持参し見せたところ、自分もよく読みたいという人があり、出来ましたら送っていただけますでしょうか？

――事務局より

6A小滝様へ送付済です。

港(全)10期E2 佐藤 弘司

加藤先生との思い出があります。電氣の実習で教えて頂いたことは勿論ですが、野球部の監督もされていましたが、野球部に行ったことがありません。神宮第2球場で東京都の夏の大会でした。相手は私立の城西高校で、チアガールと大勢の応援で圧倒されました。こちらの応援はさびしいものでしたが、試合が終わった後、ベンチの屋根から加藤先生に声をかけて挨拶しました。満足そうな先生のお顔が思い出されます。ご冥福をお祈り申し上げます。

港(全)11期E1 伊東 重幸

港工、校舎はすでない。しかし船出した母校の思い出はなくなることはない。元氣なうちに愛宕山の石段に再挑戦してみるか？

港(全)11期C 今村 将

元氣にしております。

港(全) 12期M 今井 芳雄

水、土、日は、近所のケアプラザで働いております。

港(全) 12期M 樽井 誠

六郷祭には出向うと思っております。前田会長の執念に敬意。

港(全) 12期E2 剣持 純保

遠方(奄美大島在住)で協力出来ず、申し訳ありません。

港(全) 13期E2 宇南山 光夫

いつの間にか健康保険が後期高齢者医療保険者となりました。13E2のクラス会では病気の話で盛り上がっています。

港(全) 13期E2 関根 敏夫

ホームページニュースのPDFを時々見ています。紙は紛失しますがこの形はいつでも見られるので、すばらしいと思っています。

港(全) 14期A 鈴木 雅司

同じクラスの高橋正勝さんのお話で少しばかり、+αでの賛助金(寄付)をお送りさせて頂きました。

事務局より

ありがとうございました。

港(全) 13期C 北村 嵩

在学中、担任いただいた加藤琢二先生の訃報に驚いております。先生のご冥福をお祈り致しております。

港(全) 14期A 能井 国雄

佐倉はまだ田舎の風景があり、近くの田んぼではカエルが鳴いています。たまに蛇に遭遇することもあります。当方は腰痛と肺がんで4回の手術を行いました。港工の記憶は少しも薄れていません。学校祭ではおかしな?ポマードを作ったことかと思いだされます。自然科学部の伝統でした。

港(全) 14期E1 横山 輝

加藤琢二先生のご冥福をお祈りします。先生には野球部コーチ・顧問として卒業後も良くしてもらいました。又、高橋光春先生は私の3年間の恩師であり同様に卒業後も永い間懇親を深めて頂き感謝しております。

港(全) 15期C 杉浦 義勝

古希を過ぎ、2回目のオリンピックを見られそう?(足腰が弱って大丈夫?)。この欄を使っていますね。北海道の松永君、覚えていますか? バレー部だった杉浦です。何とか生きています!

港(全) 15期C 新野 勝司

6月6日で74才になりました。港工時代に戻りたいです。世界的マジシャン、前田知洋先生のタイムマシンはありますか?

港(全) 16期A 野尻 孝

学校卒業後54年過ぎ仲間との連絡も少なくなりさびしいです。私はまだ現役で都市建設ホテルスワンレイクを経営しています。

港(全) 16期E2 遠藤 康治

5月に胸部の手術をしましたので少し静養します。深刻ではありませんが、傷口の養生にとめます。

港(全) 16期E2 仁科 忠彦

親睦会などは、校舎がなくなると、愛宕山が見える場所です……

港(全) 17期E2 田村 昌男

初めての参加です。宜しく。

港(全) 18期A 田中 二昭

昨年久々に仲間と逢いましたが、クラス仲間の葬儀でした。残念ながらそんな域にはいったのですね。

港(全) 19期E1 加藤 誠

HP担当の加藤です。19期E1クラス会を今年も開催する計画で、古希を迎えたお祝いをする予定です。

港(全) 20期E1 占野 明

一昨年十月、二十数年ぶりにクラス会を開催しましたが恩師加藤先生は体調が悪く、参加が叶いませんでした。昨年9月、先生の訃報に接し驚きました。

港(全) 20期E1 萩原 義幸

恩師加藤先生の訃報に接し悵然としております。20E1クラスメートと共々ご冥福をお祈りします。今回の連絡が届いたのは6月11日、返信締切が6月10日では無理があります。

港(全) 21期A 中村 秀行

多忙で海外へ国内飛び歩いています。

港(全) 26期A 小坂 洋二

本年4月で63才になったのを期に、勤務日数を減らしました。毎回の会報を楽しみにしています。

港(全) 32期E1 佐藤 英智

加藤先生に大変お世話になりました。数年前、同窓会でお会いして、お手紙までいただいたことが良き思い出となりました。

港(全) 56期M 星野 富一

選んだ稼ぎ柄ではありませんが暮らしが楽ではありません。

〔以下、定時制の方です〕

港(定)4期E 鈴木 孝一

同窓会ニュース有り難う。曾布川先生の手記に感激しました。私達は多分数学を習いました。バスケの上手な先生で暖かく接し下され、戦後の殺伐とした世の中を港工の夜学で皆で楽しく過ごす事が出来ました。

港(定)7期M 小川 昭次

総会の通知が6/12届きましたので返信が遅くなりました。

港(定)8期MA 中根 康夫

体力が弱くなり出歩くことが困難になりつつありますが、定時制の元気な頃を思い出して、なつかしく思い出が出来て嬉しいです。

港(定)8期E 松井 和勇

港工高を昭和31年卒業し62年経過、友人達との思い出は懐かしく忘れなものです。仲の良かった友人が他界し、やがて自分もと考ええると寂しいが、これも人生と受け止める。ハワイアンバンドリーダー、高校生のハワイアンフラダンス競技大会、女子大学生のフラダンスチームの発表会などプロデュースして、毎年本場ハワイでの親善交流に参加しています。その他全日本スキー連盟の指導員として活動し、毎年ヨーロッパスキーに参加しています。

港(定)9期C 佐田 一郎

忘れることはできないものです。港工高の文字を思い浮かべると、わかきひのことがあつと、時には走馬灯のように懐かしく思い出されます。過日そんなことを思い出したかのようには無き母校の前を通り、NHK博物館に行き、様々の懐かしい機器に触れながら、勉強し過去を思い出しました。勿論級友のことも。新橋の懐かしい街並みを思い出しながら、そぞろ歩き想いを馳せたひとときでした。懐かしい港工高よ、何時までも！！

港(定)12期MB 野口 英司

本年1月より6月31日まで病院生活之余儀されなくなりました。今後小規模多機能看護生活で体を慣らして参る次第です。

港(定)12期C 佐藤 興八

今年の5月中旬頃、自宅洗面所の水漏れ工事をした処、後に首や左腕が自由に動かなくなり、不自由しております。

港(定)13期C 鶴飼 保行

現在入院中ですが、今年も4月迄は元気で居りました。今迄生きて来た中で在校中が一番でした。もし元気で退院出来たら、次回は参加したいです。

港(定)10期M 中村 信雄

昭和29年入学定時制10期の入試倍率は4・01倍、都立校の昼夜を通して最高で、当時経済的理由で昼間学べない人が如何に多かったかの証です。同窓会ニュースの中西さんの「鬼怒川温泉旅行記」を拝見。港工卒業生の中に鉄道ファンが居ることにとても嬉しく思いました。私も幼児期から鉄道に憧れ、卒業とともに国鉄に就職。昭和37年憧れの電車運転士になり、昭和40年5月開業、半年後新幹線の運転士として着任、黎明期平成8年3月まで新幹線運転士兼機関士として乗務してきました。先日「のぞみ」で殺人事件がありました。ましたが、開業以来の出来事を運転士の視点で細かく記録した「東海道新幹線運転室の安全管理」を出版しました。

港(定)13期E 西原 要四郎

「一年三百六十五日」が毎年短く感じられることに淋しくなります。

港(定)14期MB 加藤 欣悟

現在、週2回の仕事をしています。体調も良く、元気で過ごしています。

港(定)23期C 志村 政彦

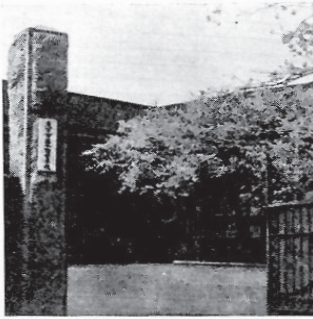
次回早めに日程が分かれば参加したいと思えます。

◇ 編集後記 ◇

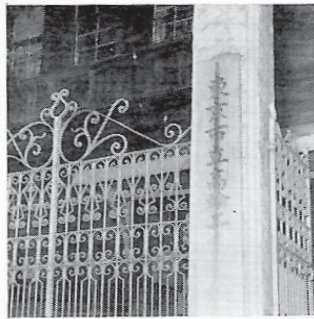
港工再興30周年も無事に終わり次なるステップに踏み出し始めました。次回、記念すべき回は何年後となるでしょうか。

春号は5年前(平成26年ごろ)から、主に古くからの(期の若い)会員さん主体と、原則賛助金(年2千円)を一度でもお支払いの方のみ郵送してりましたが(それまでは住所判明の方ほぼ全員)、だが今回の春号(第17号)は、再興同窓会30周年号として、従来通り住所判明の方ほぼ全員に(約4千500通)お送りしました(通年は1千500通位)。

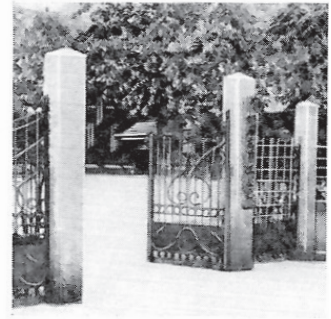
そのためか返信ハガキが通年より多く、嬉しく思います。臨時号は皆様からの「返信ハガキ短信」を中心に編集しておりますが、毎回お伝えしているように限られたスペースなので「返信全文」をお載せすることはできません。編集内容に納得出来ない方が居られるかもしれません、どうぞ、ご理解下さい。短くおまとめになられる事を希望します。この秋号(臨時号)の送付先は前述した通り賛助金お支払いの方です。全員の方にお送りしたいのですが、予算の関係でそれも叶いません。永い歴史のある同窓会の「灯」を消さない為にも賛助金の納付を、お続けるよう重ねてお願い申し上げます。



渋谷工業学校



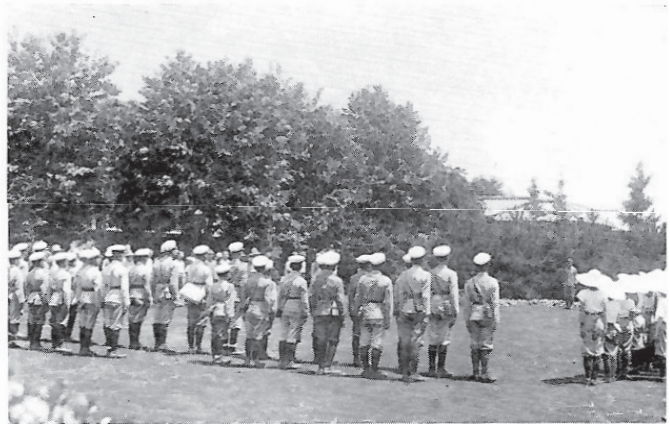
高輪工業学校



麻布工業学校

前身校の面影

ここに載せた写真、上欄の三つの校舎はすでに跡形もない。1945年3月10日の空襲で、麻布と渋谷は灰燼に帰した。疎開でガラ空きの小学校に仮住まい、それでいて戦時中の団結の意地のごときものがそれぞれにあったが、流れの寄り合うように合流して今日の大河となった。焼け残った高輪の古校舎に溢れ出るほどの教師と生徒が集まって、焦土の東京にきびしいスタートをした。



戦時中の教練風景

20周年記念誌より